

## 全体会午後の部 I

**司会者** ただ今より、全体会午後の部 I を行いたいと思います。午後の部 I の司会を担当させていただきます、大麻中学校 3年 s、松茂中学校 3年 d です。よろしくお願いいたします。

午後の部は、前半の I と後半の II の 2 部構成になっています。最初に意見発表を 3 本していただき、その内容を通して、みんなで人権について語り合い、みんなで大切な笑顔を見つけていきたいと思いますので、みなさん、どうぞ協力よろしくお願いいたします。

まずは前半 1 本目の意見発表です。松茂中学校 3年、平山楓華さん「肯定でなくてもいい、否定するな」です。作文のテーマになっている L G B T + について、松茂中学校 3年 y さん、発表をお願いします。

**松茂中学校 3年 y** L G B T + とは。生き物の性は、男と女、またはオスとメスの 2 種類だけのように思われがちですが、最新の研究では、どうやら 2 種類にはっきりと分類されないことが分かってきました。体としての「男と女」、衣服など好みとしての「男と女」、恋愛対象としての「男と女」、また「どちらも」とか、「どちらでもない」など、性に多様性があるということが分かってきたのです。それらを分類したものが、L (レズビアン)、G (ゲイ)、B (バイセクシャル)、T (トランスジェンダー) であり、それらに分類できない性も含める意味で、「+ (プラス)」としているわけです。

テレビなどのメディアに出ている芸能人のなかには、「オネエ」などと呼ばれている人もいますが、私たちはそのような人たちを、「特別な存在」のように見てはいないでしょうか。そのような人は私たちの身近に

はいないのでしょうか。自分の性に違和感を感じている人は、現在の研究では 7%~13% の割合で存在することが分かっています。つまり、私たちの身近なところにも当たり前にいるはずなのです。なのにいないように感じるのは、「特別な存在」として見られることが怖くて言い出せないだけ、自分でもまだはっきりと分かっていないだけなのかもしれません。



すべての人が、ありのままの自分で生きられるためには、多様な性が当たり前である社会にしていく必要があります。人と違う性のありようを、「特別な存在」として偏見の目で見られながら日々を生きることを想像してみてください。どんなに息苦しいことでしょうか。それがもし自分であれば…。生きづらさを感じることなく生きられることは、当事者にとっても、あなた自身にとっても、安心してありのままに生きていけることにつながるのではないのでしょうか。

**司会者** それでは平山さん、よろしくお願いいたします。

### 「肯定じゃなくてもいい、否定するな」

**松茂中学校 3年 平山 楓華**

私は今まで、いろいろな人権問題について学んできました。部落差別、障がい者差別、女性差別など、本当に様々な差別がありました。そして、その人権問題に関するほとんどのことは学校で学んできました。

ですが、人権が侵害されている現状があるにもかかわらず、学校ではほとんど取り上げない差別問題があると思いました。その一つがLGBT+に対する差別つまり同性愛差別です。



世界各国、先進国の中には同性愛を認め、異性愛者と同じように結婚できる国も存在しています。しかし、日本では限られたところしか認められないうえに、未だ、同性愛者を差別する風潮が残っています。

私は、どうして同じ性別の人が好きだというだけで差別をするのだろうと疑問を抱きました。そして、いくつかの理由を考えつきました。その一つは、同性愛者についての勉強をすることがあまりにも少ないということです。

多くの人が、人権や差別について学ぶ機会は学校だと思います。私も小学校の時からこの中学校3年生までたくさん勉強して、たくさん資料を読んできました。しかし、その中で同性愛に関する資料は、私が覚えている限りたった一つです。しかも、その一つもHIV感染者に対する差別の学習の中で、ほんの少し出てきただけでした。そんな状況では、世の中にある差別について知ろうとしなければ、いつまでたっても同性愛者を理解しないままです。知らないまま成長し、これから先、同性の人を愛する人に出会ったとき、自分とは違うと、多く人は拒絶してしまい、差別者になってしまいます。勉強する機会がないから知らない、知らないから拒絶する、拒絶するから

勉強する機会を失うのです。差別は差別している対象をよく知らないから起こるし、いつまでたってもなくなることはないのだと思います。

二つ目の理由は、同性愛者に対する人々の認識が異常だということです。私が今まで聞いてきた同性愛に関する意見は、その多くが否定的なもので、中には「同性愛を肯定するということは、お前も同性愛者なのではないか」というむちゃくちゃな意見もありました。

同性愛者だとわかると、偏見の目でみられ、差別されます。だから声を上げることができず、そのせいで、苦しみ、幸せに生きる権利を奪われてしまう。正しい知識を持ち、互いを認めていかなければ、この悪循環を止めることはできず、同性愛者がいつまでたっても差別をされてしまう世の中だと思います。

私も昔は、同性愛なんてとっていました。しかし数年前、どこで聞いたのか忘れましたが、「同性を好きになったわけではない。好きになった人が同性だったのだ。誰が誰を愛そうが、それは人の自由だ。それを許せない者、さげすむ者がいるのは、それはその者たちが、誰も愛せないからだ」という言葉を聞きました。

私はこの言葉を聞いて、一気に考えが変わりました。誰か好きな人がいて、その人を好きなのはおかしいと否定されたらほとんどの人は苦しい。同性愛差別とはそういう差別なんだと思いました。たとえ、肯定することができなくても、人の生き方を他人が否定することはあってはならない。しかも、無知な状態で。

私は今回、同性愛差別について意見を書き、叶うならば発表することによって、先生方や他の生徒に同性愛差別はおかしいことだということを伝えられたらと思い、この話題で作文を書きました。同性愛者を差

別する人を少しでも減らすと共に、私の意見が、誰かの支えになることを願っています。

**司会者** ありがとうございます。続いて前半2本目の意見発表です。大麻中学校3年藤川愛叶さん、「無知は危ない」です。よろしくお願いします。



### 「無知は危ない」

大麻中学校 3年 藤川 愛叶

「差別は無意識の中にある。例えば、被差別の地域と聞いただけで、どこか異質なもののよう感じることもあるかも知れないね。」この言葉は私が人権を語り合う中学生交流集会実行委員会に行ったときに、そこで出会った女の子や先生から聞いた言葉です。差別にはあからさまなものや、差別した本人が気づいていないようなものもあります。私は今まで差別についてたくさん勉強していたつもりでした。私は差別などしていないと思い込んでいました。しかし、私の心の奥に潜んでいる差別心は、消えていなかったのです。

今年に入ってから、何度か人権を語り合う中学生交流集会実行委員会に参加してきましたが、その中で、胸がドキンとする内容がありました。それは、LGBT+という問題についての作文を聞き、グループで話し合っていた時でした。話し合いの中で出てくる「レズビアン」や「ゲイ」という言葉を私は、日常の中でどんな気持ちで使っていたか考えました。今まで何も気にせ

ず、たまに笑いながら言っていたかなと思い出しました。本当は、知らず知らずのうちに、自分と違うから、普通じゃないと思っていたのかも知れません。部落差別のことなら、すぐにそのおかしさに気づけたはずなのに、気づくことができませんでした。大多数の人が正しい知識を持っていないために否定的な意見を持ってしまう、ということを感じました。

しかし、勉強することによって考え方を变えることもできると思います。多くの人が間違った意見を持っていると、みんながそれを正しいと思い始めてしまう。他と違うものは異質に感じて身を引くようになる。人間の特徴なのかもしれません。その中で、どれだけ周りに流されずに、本当に正しいことを貫き通せるかが大事だと私は思います。差別をされている人の中には、そういった風潮が残るために、自分自身を差別してしまっている人もいます。どこに行っても、差別が自分につきまとい、少しずつ心をむしばんでいくのです。その痛みや苦しみは、私にはどうてい計り知れないほどのものでしょう。



現在も差別は残っています。しかし、正しい気持ちを持ち、差別が減ったのも確かなことです。それは、人の痛みが分かる沢山の人たちが一生懸命に学習し、正しいことを知ったからだと思います。私は今まで学習を積み重ねてきて、差別について敏感になったと感じました。また、人権学習に取り組むみんなの真剣な顔を見たとき、私

は、「こんなに熱心な人たちと一緒に学習できてよかった。」と思いました。これからの平和な世界を作っていくのは私たちです。そして、学んだことと、人権を伝えていくのも私たちの役目です。そのためには、正しい知識と行動力が必要になります。一人でなくみんなで頑張ることが、人を、世界を変えていくための大きな力になるのではないのでしょうか。私の思いが沢山の人の心に響いて欲しいです。

**司会者** ありがとうございます。続いて前半3本目の意見発表です。板野中学校3年鳥羽春菜さん「まるごと好きになる」です。よろしくお願いします。

### 「まるごと好きになる」

板野中学校 3年 鳥羽 春菜

減点法と加点法。みなさんも知っているとおおり、減点法とは主にマイナスな面を見る方式、加点法はプラスな面に目を向ける方式です。みなさんは、自分や友達のことをどちらで見ているのでしょうか。

私は、今まで、自分のことも人のことも減点法で見っていました。ここができてもある部分が足りないから、まだダメ。いろいろなことをバランスよくできない自分が嫌。今、振り返ってみれば、そんなことを考えて成長できるはずがありませんでした。

しかし、その考え方は変わりました。私は自分の少し神経質なところが好きではなかったのですが、あるとき友達に自分の神経質な面を

「細かいところまで意識して真剣にやってるんやな。」

と言ってもらったのです。このとき、私は驚きました。自分の短所だと思っていたところを誰かに認めてもらえたことで、嬉しくなりました。それと同時に私は今まで、自分のいいところも人のいいところもマイ

ナスにとらえてしまっていたことに気づき、反省しました。

そのことをきっかけに、私の考え方は加点法に変わりました。それ以来、私は友達や周りの人についても、ここがいいな、あれが好きだな、こう思う気持ちで心をいっぱいにして過ごしていました。すると、自分も人も、そのまま全部好きになれて、心が楽になり、生活することが楽しくなりました。

人権を語り合う中学生交流集会  
うやうから十人十色 大町な色 なくし



そんなある日、工藤直子さんの「まるごと好きです」という詩と出会いました。その詩には、陰気なところも持ち合わせた、とても優しい友達に対し、「その人のまるごとを好きになる」という作者の考え方が表れていました。この詩の中の「陰気なひとだからと敬遠して、彼女のやさしさまで手放す気はない」という部分に私はとても共感しました。人は誰もがマイナスな面とプラスの面の両面をもっています。つまり、人を減点法で見るか、加点法で見るかの違いは、そのどちらに注目するかの違いなのでしょう。

私は今、「まるごと好きです」のような考え方を大切にして、自分も他者も受け入れ、お互いの存在を認めあいながら、生活していこうと思っています。プラスの面は、マイナスの面に支えられて存在しているかもしれないし、マイナスの面も、プラスの面があるからこそ、できたのかもしれない。得意なことがあると、相対的に他のことを苦手だと思ってしまうようなことも、そう

いったところからきていると思うのです。

それを知ってから、プラスの面をさらに伸ばせるようになり、マイナスの部分の摘み取り、すべてなくしてしまおうとして苦しむことも減りました。それにより、以前よりも様々なことにやる気が出たり、人付き合いがスムーズになったりしました。自分や人のまるごとを好きになり、良いところを並べていくと「マイナスな面がある」ことまでも好きになれるのではないのでしょうか。そうすれば、一人ひとりが生活しやすくなり、結果的に人と人とが傷つけ合うことはなくなっていくと思います。

人の長所、短所を認め合い、みんなが自分らしく生きていき、その中で助け合い、補い合う。このような学校や社会はすてきだと思いませんか。私の周りには、笑顔が素敵な人や部活を一生懸命頑張る人、趣味を心から楽しみ、その分野に詳しい人、自分の意見をしっかり持っている人、そして、努力する友達を心から応援できる人たちがたくさんいます。私はこのような友達のいいところを他にもたくさん見つけてその人のことをもっと知りたいし、その長所を他の人とも共有していきたいです。それは、人のためだけでなく、自分の生活や気持ちを豊かにするためにも大切なことです。これからも自分や人の素敵どころや頑張っているところを捜しながら、毎日を楽しく豊かなものにしていきたいと思っています。

**司会者** ありがとうございました。どうぞ元の席に戻ってください。それではこれから、意見発表を通しての討議にうつりたいと思います。発表についての感想や意見交換、参会者のみなさんの思いを語っていただければと思います。また、マイク係として、松茂中学校3年のaさん、松茂中学校3年のbさん。松茂中学校3年のzさんの3人がフロアをまわります。なお記録の関係上、

発表者は学校名、学年、名前を言ってから発表してください。それではよろしく願いします。

**城ノ内中学校 1年 p** 「肯定じゃなくてもいい、否定するな」と「無知は危ない」を聞いて、同性愛者の差別はみんなが勉強をして正しく理解することでなくなっていくんじゃないかなと思うことができました。ありがとうございます。

**城ノ内中学校 1年 v** 私は、「まるごと好きになる」という意見作文を聞いて、私もどうしても友達とか自分のマイナスな面を見てしまうのですが、マイナスの面もプラスの面もお互いに支え合っているということに心を強く打たれました。これから私も、周りのことをプラスの面でいろいろ見ていきたいなと思いました。

**松茂中学校 2年 h** 平山さんの発表を聞いて、私は、「同性が好きになったのではない、好きな人が同性だった」というのを聞いて、すごい納得したっていうのを聞いて、私も、「あっそうか」ってなって。ゲイの人が男の人全員をじゃないし、レズビアンの人が女の人全員を好きじゃないから、「あーそうなんだな」って思っ。すごい納得しました。



**松茂中学校 1年 a a** 他の人の違いを認め合うのが差別をなくす。よかったです。

**松茂中学校 1年 a b** みんなの発表がはきはき言えていて、とても心に残りました。

**松茂中学校 1年 a c** みんなの発表がとてもよいスピードで、間も少しあけて、とてもいい発表だと思いました。



**和光中学校 3年 a d** 私は差別をしていないとずっと思い込んでいましたが、友達の話の話題やテレビなどを聞いてゲイの話をしていると、笑ったりしながら話したので、それも差別に入るのかなと思うと、差別はいけないなと思いました。

**松茂中学校 1年 a e** ゲイなどの話をしていの中で思ったことは、ゲイなどのことを笑ったりしていることが差別につながるっていうことで、自分もしていたことが反省できました。そういうことを聞きながら、これからはゲイなど、いろんなことをバカにせずに行っていきたいと思いました。

**松茂中学校 1年 a f** この話を聞いて、ボクもまだ差別をする場面があるので、差別をしないようにしたいと思いました。

**城ノ内中学校 1年 t** 私は、話が少しそれると思うんですけど、LGBT+の人以外にも、母として子がいて、同じ性を愛する人がいるっていうのは普通にあり得ることなので、LGBT+の人たちをバカにするのはおかしいかなって思いました。以上です。

**藍住中学校 3年 c** 最後の作文で思ったのが、人をちゃんとした判断基準で見たら、人のことをちゃんと好きになれるし、差別もなくなるからいいなと思いました。ありがとうございました。

**パネリスト k** 今、みんなすごいいろいろな感想もってくれとってすごいなと思うんやけど、ちょっと考えてほしいなって思ったんが、いろんな子が差別はダメ、アカンとか、やったらアカンとかっていう人はいっぱいおったけど、それがなんでアカンかとかっていうことを、うちはみんなに訊いてみたいなって。アカンてことは、たぶん学校でも習うし目にする場面もあるんやけど。ここで純粋に訊くわ、なんでダメなん？それぞれの部分を知りたいなと思いました。

**大麻中学校 3年 a g** 最後の作文を聞いて、ボクは仲の良い子にはプラスの方しか見てなくて、ちょっと仲の悪い子はマイナスの方しか見てなかったの、どの子にもバランス良くどちらの面も見てきたいと思いました。



**城ノ内中学校 1年 u** 私が差別がダメだと思う理由は、差別をすることは、その人を否定することだと思うので、その人の価値や生きていることなども否定することだと思うからです。だからみんながお互いのことを認め合って、「まるごと好きになる」のように、みんなの短所や長所などを生かしたり、例えば長所だったら、その長所を

生かして何かをしたり，短所だったらみんな  
で補ったりすることが大切だと思いま  
した。以上です。

**城ノ内中学校 1年 p** 差別がダメだと思  
う理由は，単純にその差別された人が過ご  
しにくく，暮らしにくくなると思うからで  
す。人から差別されたりしたらやっぱり誰  
もいい気はしないと思うし，差別していな  
い人も疑心暗鬼になったりして，やはり  
普通に生活していくうえで，すごく暮らし  
にくいと思うから，みんながそれを正しく  
理解して受け入れることで差別はなくな  
ると思うし，差別される対象の人も暮らし  
やすくなると思います。

**八万中学校 2年 ah** ボクは小学校6年  
生ぐらいの時にLGBT+のことは全然興  
味がなくて，なんで男が男を好きになるん  
だろうとずっと考えてて。中1になって冬  
からセクシャルマイノリティーの学習に参  
加させてもらって，そこから勉強したら，  
その人たちは差別されたらどんな気持ちに  
なるだろうとか，今までの自分がちょっと  
情けなくて，自分でもちょっと残念だと思  
いました。以上です。



**城ノ内中学校 1年 v** 差別はなんでいけ  
ないかといったら，この2人と同じで，そ  
の人の存在自体を否定しているっていう感  
じで，私が思ったのは，その人を侮辱して  
いるという感じになると思います。私もや  
っぱり人の差別だけじゃなくて，アニメが

好きだったりしたら，あいつちょっとキモ  
イ，オタクとかやなとか，そう思われるの  
もやっぱり差別と一緒にかなと思います。好  
きなこととか，自分が好きな人とか，やっ  
ぱりそういうのを否定されたらいい気持ち  
はしないと思うので，みんながお互いに認  
め合える世の中になったらいいなと思いま  
した。



**大麻中学校 3年 s** 差別がなんでダメか  
っていうその理由についてなんですけど。  
例えばいろんな人がいるのに，いろんな人  
の考えとか思いとかを分かろうともせずに，  
自分勝手なその気持ちとか，嫌いとか，気  
持ち悪いとか，そういうことで人をそんな  
ふうには傷つけてはいけないと思うから，  
私は差別はダメだと思います。

**城ノ内中学校 1年 t** 私が差別がいけな  
いと思う理由は，差別をすると，差別をさ  
れている人が幸せに生きる権利を守られて  
いないと思うので，差別はしてはいけな  
いと思います。

**松茂中学校 3年 a** さっきのkさんの，  
なんで差別はいけないのかっていう質問に  
対してなんですけど，ちょっと詳しく言え  
ないんですけど，私も差別される対象にな  
り得るものをもっているんです。いろい  
ろといくつか。あんまり周りの人に言ってな  
いんですよ。ずっと隠してるんですけど。  
そういう話題が出たときにいろいろみんな  
言うじゃないですか。それにちょっと嫌だ

なとか、痛いとか。その人は私を傷つけるつもりで言ってるんじゃないんですけど、その人が私がそうであると知らないままに言ったことで、泣かれるみたいなんで、ちょっと痛かったり、重かったり、しんどかったり、ちょっとその人のことを嫌いになってしまったり、地道に傷つけられていくあれがあって。そんな人はいないと思って話しても、絶対にどこかにその人はいるんですよね。目の前にいなくても、周りにいなくても、どこかに自分が今言っている誰かはいて、それを言うことによって、その誰かを傷つけてしまうから。自分がここにいていいんだろうかとか思うし、生きていていいんだろうかって思ったりしたこともある。そういうのがあって、もしかしたら自分や誰かの言葉が原因で誰かが死んでしまったりする可能性とかもある。誰かを壊すかもしれないから。もしかしたら私も毎日誰かを壊してるかもしれないから、差別はいけないというか、できればやりたくないし、やってほしくないし、なくなってほしいって思います。以上です。



**パネリスト j** さっき a さんが言ったんやけどね。ボクも言えんような、そういう対象になるようなことはもってます。もうこのみんなは知っとんやけどね。まだ親にも言っていないし、実際親に言ったらどういふ顔するんだろうって。かなり親に期待されて言われとうけん、言うんはほんまに怖い。ほなけんまだ言えてない。もし言ったことによって、親が傷ついて、もう

無理やなみたいに言われるんも嫌やし。ほら周りの友達やって、学校の友達ね。そんなおると思っ言てないんだらうけど、悪ノリの中でね、だんだん言葉がエスカレートしていくわけですよ。そういった対象の人たちに向けての言葉が。ほれを聞くたびに、なんでこいつらこんなこと言えるんだらうと思っ言てしまうわけですよ。けどようん考へてみたら自分やって、何らかの対象の人に向けて、言よる可能性やってあるわけよ。自分しなないって思っ言ても。何らかそこに引かかる可能性あるわけですよ。ほなけんなんぼそう考へても、思いつかんときは思いつかん。けど逆に言ったら、こうやって参加しよるときに、ほらいう話が出たら、「あつ、自分こういふこと言よった」って。「今度からやめよう」って気づけるやん。ほらいうことを大切にしていかんかったら、いつまで経ってもほらいう偏見とかは、なくならんわけよ。暴露になったけど。ほら言われて傷ついて、死にたいな思っ言たときもあつたけど、それこそ友達が心配してくれて、言っ言てくれて、助かったこともあつた。けど逆に言えば、自分も傷つけよる場合があるけん、ようん考へてしゃべろうぜっていう話でした。ありがとうございます。



**パネリスト i** しゃべるのがあんまり上手くないのと、あとどういふ話をしたらいいのかよう分かってないんとで、グダグダになると思っ言んですけど。とりあえずここに来てしゃべるのはいつになっても緊張する



もんですね。すごい心臓がバクバクしとるんやけど。今月の8月の3日とかに、鳴門の人権フォーラムっていうのがあって。そのフォーラムのあった日に居酒屋で打ち上げをしてっていうので、私もそこにちょっと参加させてもらって。解散になった後に、私と私の友達と私の母親とその母親の後輩の4人で、LGBT+とかの話になって。その話のときに妙に盛りあがって、それぞれの意見を言ってたんですけど。そこで私の母親とか、その後輩とかが言ってたことが、私の思ったことにすごい合致してて。こんな言い方をしたら、ちょっとけなしてる部分になるかもしれないんですけど。例えばレズビアンとかゲイの方、あと私たち勉強してる人間はヘテロセクシャルっていう、異性愛者のことを指してるんですけど。そのヘテロセクシャルの人とか、レズビアンの方、ゲイの方っていう人たちって、何かもったいない気がするんよねっていう話が、その時に上がったんですよ。ていうのは、異性愛者の方もそうだし、同性愛者の方もそうなんですけど、自分は異性しか好きにならないとか、自分は同性しか好きにならないっていう、決めつけてしまっている部分があるかなと思って。自分の好きになる人っていう縛りをつくってしまっていて。そういうのって、結構もったいないなって思って。長い人生の中で自分が男しか好きにならないとか、女しか好きにならないって、そんなことはないと思うんですよ。そういう人もいるかもしれないけど、だって、普通に生きていってるなかで、自分はバイセクシャルだとか、ゲイだ、レズビアンだとかって言うてる人はいても、結局、もしかしたらたまたま同性を好きになる可能性だってあるし。ゲイとかレズビアンとかって、同性を好きになるとか言ってても、生きていくなかで異性を好きになることやってあるかもしれないし。て考える

と、レズビアンとかゲイとかバイセクシャルとかって、何かあんまりいらん気がするっていうのはある。わざわざ分けたって、



だって結局、誰を好きになるかや分からんし。どういう人を好きになるかって分からんから。だからわざわざそこで判断する必要ってないんじゃないかなって、勉強しながらずっと思ってて。自分は今まで恋愛経験がそんなにないんで、今まで男の人しか好きになったことないし、これは偏見かもしれないけど、女性に対して一歩引いとるっていうか、ちょっと女の人のこういう所が苦手かなとかっていうのあったりするけど、逆にそうやって思ってる部分がある分、それが取り払われた場合には、もしかしたら女の人を好きになることだってあるかもしれないし。いい部分がだんだん見えてきてとか。て考えると、こういう勉強をしてるけど、結局そういうのっていらんよなっていうのがある。あと、カミングアウトとかって、するとかされるとかかっていうんじゃないなくて、つきあいがあると、どうしてもその人のイメージが定着してくるから、そういうのがだんだん関係なくなってくるような気はする。たとえば芸能人で、名前あげたらマツコデラックスとかIKKOさんとかっておるけど、私はあの人たちを見たときに、性別の認識ってあまりない。この人はこの人でこういうイメージがあってっていうんで定着しとるから、性別ってあんまり気にならんよななってなってくるし。そういうんでいえば、女性寄りの雰囲気

男の人とか、ボーイッシュとか、男の子寄りの格好をしたような女の子とかあっておるけど、どうしてもそういう人たちを見たときに、性別の認識っていうんがあんまりない。この人はこういう人なんじゃって、その人のイメージがつくだけで、性別と違って結局社会で分けられるためだけにあるようなイメージが私のなかでは強いんやけど。みんなここに来て、こういうみんなの発表とか聞いたりとかでもいいし、今までテレビで見たとか、学校とかで勉強したとかでもいいんやけど、そういうんで今までもっとった印象とか、イメージとか、自分の経験のなかでこんなふうに思ったとかっていうんがあったら、聞かせてもらえると嬉しいかな。私とみんなが同じ考えとは思ってないから、もしかしたらもっと違う視点での話が聞けるかもしれんし。ここではそういういろんな意見が聞けるんがこの会のいいところやと思うし。それこそ県外の子とかだったら、絶対普段話聞くこととかないやん。学校での勉強に関してもそうやし。だから、もっとみんないっぱいばんばん発表して、質問とかも投げかけてくれたら。中学生間でもいいし、たぶんここにおる高校生とか、場合によったら後ろにおる先生とか大人の人でも答えてくれるかもしれんし。みんなばんばん発表したらいいと思う。緊張とかせんでも。最初は手挙げるん勇気いるけど、慣れてきたら、ここまで高校生になってもしゃしゃり出てばんばん手挙げるけん。マイクひったくって発表しよったけん。みんな周りのことは気にせず、思ったことはばんばん言ってください。以上です。

**大麻中学校 2年 ai** ボクは異性を愛する人っていうんと同性を愛する人っていうんは、愛する方法としては一緒だと思うんですよ。意味としては一緒だと思うけど、同性愛を否定しよる人は、異性を愛するっ

ていう一つの愛し方と、同性を愛するっていうのとは別の愛し方だと思っとなかなど。愛するのは同じなんやけど、同性を愛することと、異性を愛することは違うことなんかなって思ってるのかなって思いました。



**和光中学校 3年 aj** 自分も人には言えないやつがあつて、それはなんで言えないのかって訊かれたりすると、やっぱり性別での間の壁とかあつて、それで否定されるのが怖いからで。これからもっと性とかは関係なくて、一番大事なことを気づいてもらって、差別がなくなればいいなと思いました。

**和光中学校 3年 ak** 私は今日までLGBT+という言葉自体知りませんでした。しかも先日まで同性愛、両性愛ということもあまり知らず、自分と関係ないと知ろうともしていませんでした。今回私が作文を聞いて、自分がもし愛した人が同性だったとして、他の人が同性だからいけないと否定しても、きっと私はその人を嫌いになることはできないんだろうなと感じました。それならば誰にも否定される必要なんてないんじゃないかとも思いました。今までLGBT+ということに詳しく知ろうとしていなかったことにすごく後悔しました。これからは少しでも自分から知って向き合っていきたいと思います。

**和光中学校 3年 al** ボクも今日までLGBT+のことは全然知らなくて、今日初

めて知って、やっぱりそういう差別もなくしていかなんといかなんと思いました。以上です。

**板野中学校 3年 w** さっき高校生の方がおっしゃってた、「もったいない」っていうやつについて、人生ってたとえばどういうことが起こるか、これから分らんけん、もしかしたらこれからは誰を好きになるかとか、何が起こるかとか全然分らんけん、そういうこととかあったときに自分はこっただけしか好きにならんとかいうこととか決めたりしとったら、もったいないっていうんは、すごい共感しました。すいません変になりました。以上です。

**八万中学校 2年 ah** ボクのいところが、「同性愛の人はマジないわ」とか、レズビアンとかゲイとかの人に対して結構悪口言っていて、そしてボクもそのとき小学生だったんで同じ気持ちだったんですけど、中学校にもなってそんなことを言ってたんで、そのいとこと喧嘩けんかになって、「相手の気持ち分かってないだろ」って言ったら、「いや分かっとうつもりやし」とか。「ほやって言うのやめろ」って言ってもまだ言い続けるので、とりあえずは「差別はせんように」と、そのいところにも心がけてるので、みんなも差別はせんようにお願いします。以上です。



**パネリスト k** さっきのiちゃんの話に引っかけ、ちょっと自分の話になってしまうんやけど。iちゃんが言ったんで、決

めん方が、自分の性のあり方とか、愛する人のこととか決めめん方が、よりいいんじゃないか、みたいな感じやんか。今話が出とんが、性的指向とか、愛する方の話になっとして、ちょっと脱線して申し訳ないなと思うんやけど。自分はちっちゃいときから、遊ぶものとかはおままごととかそういうことももちろん好きだったんやけど、仮面ライダーだったり、ごっこ遊びだったり、そういうんも好きで、いまだにずっとそういうのが好きで。めちゃくちゃ見ようし、今回の仮面ライダービルドの映画や2回見に行ったし、もうめっちゃ好きなんやけど。それはいいんやけど。クラシックバレエを習いよったんやけど、3歳から中2まで。そのときって、クラシックバレエって、レオタードにタイツで、しかもチュチュって、スカートで、完全に女の子みたいな格好やけど、別に何も違和感はないんやけど。たとえば、すごいリアルな話になってしまうけど、トイレに、ちっちゃいときに一番違和感があったんが、幼稚園か小一か何かの授業で、男の子はこうやってトイレをします、女の子はこうやってトイレをしますっていうのを習ったわけよ。そのときに、「えっ、男子ってこうやってトイレしよん」て、知らんかって、何も。初めてそれを知ったときに、「えっ、じゃあ自分もできるやん」て思って、そういうふうにはトイレをしたんよな。ほしたら、上手くできんかったんですよ。当たり前やけど。体の構造的にできんけん、失敗したっていうか、上手くできんかって、何でやねんて感じたときがあったんよ。そのときに、一番強烈に覚えとるイメージとして男女の違いっていうのを感じたことがあったりして。ときたま、説明がしにくいんやけど、自分は今でもすごい男子にめちゃくちゃ憧れるじゃないけど、極端に言えば、めっちゃ髪切りたくなって、バサッて切るんよ。長いんが嫌やっ

てなって。こんな話を中学生の前でするんはどうかと思うんやけど、胸やいらんってなって、こんなんいらんってなって、弟とかお父さんとかの服をいつも借りて、そういうときは。より格好いい感じのでおりたいなって思う時もあるやけど、逆にふわふわの髪にしたいなみたいな。ほんでちょっとスカートはいたろうかみたいな。スカート持ってないけん、お母さんの方のをちょっと借りたりするんやけど。ちょっとふわつとした服着たりとか、そういうふうにしたって時もあったりとかで。前までは変な感じ。どっちつかずっていうか、何て言ったらいいのかな。変わりまくるし、しかもそれが期間ていうか、ある時期はそうなんやけど、ある時期はまた別みたい。その中間らへんな。まあ言ったらハウルみたいな格好して。ハウルみたいになりたいときもあるんよ。中性的になりたいときがあったりしてな。はっきり決まってない感じの時があったっていうのを自覚しとって。自分は何かよう分からんって。でも男子になりたいときもあれば、女子になりたいときもあって、どっちにもなれんていうときもあったりとか。一時期、何やねんて悩んどった時もあったんやけど、中高生集会とかでLGBT+とかの勉強しだして、いろんな性の多様な在り方に出会って、いろんな人との出遭いもあったりとかして。あと、たぶんユイくんとか全然知らんと思うけど、「よりそいホットライン」とかいうやつに電話したりして。いろいろ言えんかったけん。話して聞いてもらったりとかして、結果今自分が落ちついたんは、自分はXジェンダーなんではないかと。知つとる？知らんか。例え入れたほうがいい。Xジェンダーって言ったら、幅が広いけん。Xジェンダーっていうのには、いろんな意味が、いろんな在り方が含まれるけん何とも言えんやけど。例えば、ちょっとiちゃん説明し

て。



**パネリスト i** Xジェンダーの説明ですけど、極端にいくつか例を挙げると、例えば、男でもあり女でもありたいみたいな。そういう在り方とか、間ではないけど、中性的なところでおりたいとか。逆に、男でも女でも中性でも何でも、それこそ自分自身がそうみたい。自分自身が自分やけんみたい。そんな感じかな。あまり、これっていう性別を決めないっていうのがあるかもしれんな。Xジェンダーって。自分もそういう感じでありたいって思うとる部分があるけん。あのね、女だからどうかみたいな嫌いなんよ。ていうか、自分男とばかり連れるんがあるけん、どうしても女だからって言って、男の人と分けられる部分であるやん。仕方ない部分もあるけど、「えっ、ここで分ける必要ある」みたいなところで分かれたりするところ、ああいうんあんまり好きじゃなくて。だから自分男だったらなみたい。分からんけど思ったりとか。どっかで分けられる部分だよ。私、妹が二人おるんやけど、上の妹が、体質的な問題なんか分からんけど、何か変な男の人にばかり絡まれる。不審者に追いかけて回されたとか、知らん男の人に体触られたとか。そういう問題をいろいろ抱えとって、「男の人もう怖い、嫌」みたいなっていうんがある。極端にある一人の女の子のことをめっちゃ崇拜しとんよ。「あの人は女神さまや」とか言うて。「あの子、好き好き」って、誕生日プレゼント絶対渡すみたい。

それでうちの母親が、「それって恋愛で好きなん？」て訊いたら、「いやそうではないんですよ。あの人は神なんよ」とか言ってめっちゃ持ち上げるんよ。それいっそのこと恋愛感情って言ってしまったら楽なんじゃねえ？なんか伝える表現の仕方が難しいで。崇拜しとるっていうのが。アイドルかよみたいな。ほなけど、アイドルとはまたちょっと違うんよなって。上の妹は上の妹で、何か変わって。下の妹は下の妹で、小さい頃、「私は男になりたい」とかってずっと言よって。最近全然言わんのやけど、たぶん下の妹は、私と似たタイプだと思うんよ。もし自分が男だったら、もっと男の人といろんなことできるのに、女の子っていう認識されるから、分けられて一緒におれんけんつらいとかっていうんがあって。下の妹は小さい頃サッカーがしたいってずっと言よって。サッカーはうちの母親が、「やめとけ」みたいなん言って。小学校のときにバスケット部に入って3・4年続けて。中学校入ってからは野球部に入って髪をバツサリ切って、色も黒うなってっていうんがあって。結構男の子に近い感じになったんやけど。昔と違って今は、男になりたいとか言わんようになったんやけど。たぶん、男の子との関わり方っていうんが分かってきたんかなって。女の子やけんていうんで、今まで壁があって関われなかったんが、ちょっと男の子寄りにいつている分、「あ、男の子にならんでも、こうやって関わられるんじゃ」ということを、女の子やけんていうんで壁があって関われなかったんが、ちょっと男の子寄りのところにいつている分、「あ、男の子にならんでも、男の子とこうやって関わられるんじゃ」ということを、だんだん自分の中で分かってきてっていうんがあるんかな。でも女の子って言われるんはあんまり好きじゃないから、スカートとか全然はかんし。あと強がりの部分があるんか

どうか分からんけど、一人称が「オレ」で。オレはこう思うみたいに言ようけど。最近「うちって昔言よったけど、うちに直した方がいいかな」って揺らいどう部分があるみたいやけど。下の妹は、昔ちょっと丸かって。太い子って、胸が出てきたりとかっていうんがあったりするけど、さっきkちゃんと言よったみたいに、「もう胸いらん」と言うタイプ。私もそうやし、うちの上の妹も「胸はいらんわ」と言よんやけど。野球部入って運動量が増えて、痩せて、胸もちょっと小さくなってきて、「もっとなくなればいいのにな」とって愚痴言よるけど。それってなかなか無理でっていうんがあって、本人も、「妥協するしかないんかな」と言ようけど。うちのきょうだいって、みんな名前が、男の子でも女の子でも通るような名前。うちの下の妹は、一部の友達に「くん付け」で呼ばせよるっていうんがあって。そういうの格好いいなって思った。自分の思っるとるように、自分の表現したいような形でいろんな表現ができよって、ああいうところすごいなって思った。とりあえず以上です。



**司会者** まだまだ発表はあると思いますが、このあたりで午後の部Ⅰの前半を終了し、10分間の休憩をとりたいと思います。水分は外でお願いします。10分後には元の席に戻ってきてください。